

報道関係各位

成蹊大学 2018年度 前期公開講座開催のお知らせ**統一テーマ:「中国」**

成蹊大学(東京都武蔵野市、学長:北川浩)では、2018年度前期公開講座(全4回)を2018年5月26日(土)より開催いたします。

昔から日本とも関わりの深い中国は、近年、再びその影響力を増大させつつあります。2018年度前期公開講座では、歴史、文学、環境・エネルギー、国際関係など多様な観点から中国について考えます。

各回の概要に関しては、下記をご参照下さい。

■第1回:「村上春樹にみる中国と日中戦争」

日時: 5月26日(土) 10:30~12:10

講師: 宮脇 俊文 (本学 経済学部教授)

■第2回:「中国における環境・エネルギー問題の現状と対策技術」

日時: 6月2日(土) 10:30~12:10

講師: 酒井 裕司 (工学院大学先進工学部環境化学科准教授)

■第3回:「中国からみたモンゴルとモンゴルからみた中国」

日時: 6月30日(土) 10:30~12:10

講師: フフバートル (昭和女子大学人間社会学部現代教養学科教授)

■第4回:「『盧溝橋』への道」

日時: 7月7日(土) 10:30~12:10

講師: 光田 剛 (本学 法学部教授)

- ・会場: 成蹊大学 6号館 401教室 (東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1)
JR 中央線・井の頭線「吉祥寺」駅より徒歩 20分、
または吉祥寺駅北口①・②番バス乗り場から関東バスで約 5分「成蹊学園前」下車
- ・受講費用/資格: 無料/どなたでもご参加いただけます。
- ・定員: 300名(当日先着順)
- ・お問合せ先: 成蹊大学企画運営部庶務運営課
TEL.0422-37-3535 E-mail.kikaku@jim.seikei.ac.jp

※お申込みの必要はございません。直接会場へお越しください。

※各回とも独立した内容ですので、ご希望の回だけの受講も可能です。

※講義内容・講師・会場につきましては、止むを得ず変更になる場合がございます。

本件に関する報道機関からのお問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL.0422-37-3517 FAX.0422-37-3704 E-mail.koho@jim.seikei.ac.jp

宮脇 俊文 (ミヤワキ トシフミ) 成蹊大学 経済学部 経済経営学科 教授

■講演名:「村上春樹にみる中国と日中戦争」

村上春樹の作品には中国を扱った作品が多く見られます。『ねじまき鳥クロニクル』や『騎士団長殺し』、その他短編「トニー滝谷」などに描かれた日本と中国の歴史的関係を考察します。

研究分野: 文学 / 英米・英語圏文学 / アメリカ文学

研究キーワード: ジャズ、ジャズ・エイジ、失われた世代

酒井 裕司 (サカイ ユウジ) 工学院大学 先進工学部環境化学科 准教授

■講演名:「中国における環境・エネルギー問題の現状と対策技術」

中国の環境問題とエネルギー事情の現状を解説し、演者がこれまで取り組んできた大気汚染、砂漠化、食料問題の同時解決方法の実践例から、今後の対策技術について考えます。

研究分野: 環境学 / 環境関連化学

研究キーワード: 環境技術、環境材料、環境影響評価、環境政策

フフバートル (フフバートル) 昭和女子大学 人間社会学部 現代教養学科 教授

■講演名:「中国からみたモンゴルとモンゴルからみた中国」

万里の長城は何のためにあったのか。なぜモンゴル国と内モンゴルがあるのか。モンゴル独立をめぐる中国とモンゴルの関係を画像や動画を使ってわかりやすく説明します。

研究分野: 言語学

研究キーワード: モンゴル、ことば、近代、民族、国家、社会

光田 剛 (ミツタ ツヨシ) 成蹊大学 法学部 政治学科 教授

■講演名:「『盧溝橋』への道」

1937年7月7日、「盧溝橋」での衝突から日中の全面戦争が始まったとされます。この事件に至る道筋を、おもに中国の現地に視点を置いて、あらためて見直してみたいと思います。

研究分野: 史学 / アジア史・アフリカ史 / 中国近現代史

研究キーワード: 華北、国民政府、中国近現代史
